

平成27年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	田中、島田
全体計画						経費区分		-		内線	3645・3646
事務事業名	4298 健全育成推進事業										
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課										
施 策	02010800 児童・青少年健全育成の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100606 教育費・社会教育費・児童青少年総合対策費									
	事業	010000 健全育成推進事業									
事業目的						事業概要・効果					
未来を担う児童・青少年が自主性や社会性、協調性を身につけ、個性豊かにたくましく成長するため、子ども会・育成会を中心とする地域活動を支援するとともに、子育てセミナーや「家庭の日」普及実践活動を行い、家庭教育力の向上を図る。						家庭・地域の教育力を向上させるため保護者など大人を対象にした「子育てセミナー」を開催。 子どもたちの手による子ども会活動への支援。 育成会活動への支援。 児童・少年を対象としたスポーツ大会の開催。 少年・ジュニアリーダー養成研修会を行い、次の地域子ども会のリーダー（子ども会の役員など）となる子どもたちを養成する。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、少年球技大会の開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施	子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、少年球技大会の開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施
平成26年度 実績	平成27年度 予定
子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、少年球技大会の開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施	子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、少年球技大会の開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施

指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		8,835	9,635
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		8,835	9,635
人員数 (人)	正規職員	0.8	0.9
	嘱託職員	0.7	0.9
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	5,486.4	6,172.2
	嘱託職員	1,907.5	2,452.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	7,393.9	8,624.7
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		16,228.9	18,259.7

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	371	子育てセミナー講師謝礼 少年球技大会関係者謝礼
11節 需用費	444	消耗品費、会議等食糧費、資料・チラシ印刷代
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7,737	各町育成会活動交付金、県・地方子ども会負担金
その他	283	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	678	子育てセミナー講師謝礼 少年球技大会関係者謝礼
11節 需用費	631	消耗品費、会議等食糧費、資料・チラシ印刷代
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	8,000	各町育成会活動交付金、県・地方子ども会負担金
その他	326	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	青少年の健全な育成は国民の願いであり課題でもある。 次世代を継ぐ子どもたちの健全育成はすべての大人の責務である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	成果が見えにくい。 有効な手段がなかなかない。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	少子化や個々の子育て方針など地域（育成会）活動が昔と比べ停滞しつつある中で、活動自体を縮小することができない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

多様化する子育て環境（塾・スポーツクラブ・習い事・私立学校）の中で地域（町育成会）での活動を両立することが困難となってきている。50年続いた少年球技大会も参加者の減少など環境の変化から別の種目での開催を模索することとなった。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）	次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
少年球技大会が50回を迎えたことで1つの区切りとし、時代に合った種目に切り替えを図る同意を得、課題であった球技大会の見直しを行うこととした。		児童・青少年が個性豊かにたくましく成長するために事業の実施ができた。少年球技大会については、節目の年とし、次年度からの実施内容については改善をしていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	